

2018年度 同志社ローム記念館プロジェクト

応募要項

エントリー締切：2017年11月30日（木）

同志社ローム記念館では、館内のプロジェクトルームを拠点に、「同志社ローム記念館プロジェクト」を展開しています。

「プロジェクト」では、チームでの目標を持ち、その達成に向けて計画を立て、主体的に取り組むことが求められます。
その中でテーマに関連した専門知識やスキルだけでなく、社会で必要とされる能力を涵養、多くのことを体験的に学ぶことができます。

現在、2018年度に実施するプロジェクトを募集しています。
あなたの「やりたい！」をカタチにしませんか？
みなさんからのご応募をお待ちしています。



条件 ◆同志社ローム記念館プロジェクトポリシー

次のポリシーにもとづき、採否を審査します。

同志社ローム記念館は、IT・メディアテクノロジーを創造的に活用した「メディアフロンティア」を目指す、未来の文化創造を担う人物を育成するため、次のような方針でプロジェクトを展開します。

- 新しいものやしくみを創り出し、社会活動へ活かすことを目指すプロジェクト
- IT、メディアテクノロジーを活用するプロジェクト
- 学生・生徒が主体的に取り組むプロジェクト



プロジェクト活動では、自己とプロジェクトチーム、自己と社会について考える機会を提供し、活動及び成果の質向上を目指します。

◆実施期間

次の実施期間内で完結するプロジェクトであること。

2018年4月2日(月)～2019年2月28日(木)

*法人およびプロジェクト関連行事等の都合により、やむを得ず変更される場合があります。

◆応募資格

学校法人同志社の学生・生徒（申請代表者）及び企業・団体等

企業・団体（自治体）、法人内団体・部課等からのプロジェクト応募も受け付けています。事前に事務局までお問合せください。

◆テーマと目標設定

プロジェクトテーマは自由です。

プロジェクトポリシーに照らし、「何を実現するか」「IT、メディアテクノロジーをどのように活用するか」を明確にすること。

活動期間中にどのような成果をあげるか、具体的な目標（できるだけ数値でも示す）を設定してください。

◆計画

実現したいこと、目標に向けて必要な人員、目標達成までの道筋やスケジュール、経費概算についてエントリーシートに基づき明確に示すこと。期間中、中間報告会、最終成果報告会以外に、書類提出や面談により、目標達成度の確認を行う場合があります。

◆実施体制

プロジェクトメンバーが3名以上いること

※企業・団体は、学生メンバーについては事務局にご相談ください。

エントリー時において、プロジェクトを期間終了まで責任を持って遂行する3名以上のメンバー（同志社の学生・生徒）が参加していることが条件です。

学内外でのプロジェクト活動経験者が参加しているなど、目標達成に向けて実施体制をしっかりと整えた上でエントリーしてください。

本プロジェクトは、同志社大学、同志社女子大学を中心に（メンバーの70%以上が同志社の学生・生徒であること）、多様な専門、学年のメンバーがひとつのテーマに取り組むことのできる環境を大切にしています。プロジェクトが単一の研究室や学生団体のメンバーのみで構成されるような実施体制は認められません。プロジェクトのベースとなる団体、関連団体がある場合はその旨明記してください。

学校法人同志社の専任教職員がプロジェクト責任者として参加していること

プロジェクト責任者には、活動において、学生・生徒へのアドバイス等のサポートをお願いしています。

エントリー時には、プロジェクト責任者が内容確認の上、記名押印したエントリーシートを提出してください。

プロジェクト責任者として参加してもらえる教職員を探すことが困難な場合は、あらかじめ事務局へご相談ください。

なお、活動による知的財産権利用等にかかわる責任は、ローム記念館プロジェクト運営委員会が負います。

◆活動拠点

館内のプロジェクトルームを貸与します。このルームを拠点としてプロジェクト活動を行ってください。

◆活動費

1 プロジェクトに付与する上限額は10万円とします。

本プロジェクトは、ローム株式会社との学術交流協定のもとご寄付いただいた基金をもとに運営しています。選考の過程で用途を確認し、直接経費として必要と判断したものについて上限を超えない範囲で活動費を付与します。（PC等の機器や物品については、一部貸与できるものもあります。）

目標達成に向けて、付与される活動費以外の資金を活動費に充ててもかまいません。企業・団体からの支援、クラウドファンディング、助成金への申請等を予定している場合は予算書に明示してください。

◆その他

- ・活動期間中は、オリジナルサイトや既存のツールを活用し、**Web上で定期的な活動経過報告**をしてください。
- ・広報活動や成果物作成・公開にあたり、著作権等知的財産権を侵害することのないよう、各プロジェクトで責任を持って必要な調査、手続きを行ってください。
- ・プロジェクトにより生み出された成果は、参加する学生・生徒の権利保護の観点から、原則として同志社ローム記念館発明規程に準じて取扱うこととしています。ただし、具体的な条件については、それぞれ関係者と協議のうえ決定します。

応募 手続

- 応募〆切 **2017年11月30日(木) 17:00 必着**
- 提出先 同志社ローム記念館事務室
- 提出方法 同志社ローム記念館事務室窓口での手渡しとします。あわせてデータでの提出を行ってください。
- 必要書類 **プロジェクトエントリーシート(チェックシート、添付書類を含む)**
ローム記念館 Web サイト (<http://rohmdoshisha.ac.jp/>) からダウンロードして作成し、印刷して提出してください。
所定の書式に盛り込みきれない補足事項は添付書類として提出してください。
また、参加企業・団体がある場合は、企業・団体の概要がわかる書類を添付してください。

選考

2017年

- 11月30日(木) 応募書類提出締切 ⇒ 書類選考
12月下旬 書類選考結果通知



2018年

- 1月初旬 ヒアリング
1月下旬 選考結果通知(実施プロジェクト決定)
4月2日(月) プロジェクトルーム利用開始・メンバー募集開始

- ※ 具体的な日程は、エントリー後、個別に連絡します。
- ※ 申請件数と採択件数および採択プロジェクトの名称、プロジェクト責任者名、参加団体名および活動概要は Web サイトで公開します。

年間 スケジュール

同志社ローム記念館では、報告会をはじめとしたプロジェクト全体行事を開催しています。下記は2017年度プロジェクトの実際のスケジュールです。過年度の活動の様子は「同志社ローム記念館プロジェクト」のFacebookページでも公開していますので参考にしてください。

4月	プロジェクトスタート メンバー募集期間	授業開始（上旬）
5月	ウェイクアッププログラム 活動についてのガイダンスやワークショップ等を開催。 プロジェクト合宿（チーム単位で任意実施。） 第1回 目標達成度の確認（アピールシートの提出）	
6月		
7月		試験開始（下旬）
8月	ステップアップキャンプ（8/22～23） プロジェクト活動を見直し、交流を深める。	試験終了（上旬）・ 夏期休暇
9月	中間報告会＝第2回 目標達成度の確認（9/30）	授業開始（下旬）
10月		
11月	同志社クローバー祭（11/4・5） プロジェクトの成果を発表し、フィードバックを得る。	創立記念行事週間・ 同志社 EVE（下旬）
12月		
1月		試験開始（下旬）
2月		試験終了（中旬）
3月	最終成果報告会・ 同志社ローム記念館大賞発表会（3/3） 1年間のプロジェクト成果 報告を行うとともに、優れたプロジェクトを顕彰する。 プロジェクト終了	 卒業式（中旬）

FAQ

◆同志社ローム記念館プロジェクトについて

Q：どのようなテーマならエントリーできるでしょうか？

A：「同志社ローム記念館プロジェクトポリシー」に合致していることが条件となります。

IT・メディアテクノロジーを活用し、新しいものやしくみを創り出して社会活動へ活かすことを目指すプロジェクトを企画してください。

取り扱うテーマは「国際交流」、「歴史」、「福祉」、「医療」、「スポーツ」、「コミュニケーション」等なんでもかまいませんが、プロジェクトのオリジナリティ、目指す成果のすばらしさをしっかりアピールしましょう。

Q：プロジェクトってどのようなものですか？

A：限られた期間で、自分たちの定めた目標に向かって行うチーム活動です。

基本的には毎年4月から3月の約1年間を活動期間に定めており、エントリー時のコアメンバーを中心に、新年度に必要メンバーを確保してスタートします。学部・学年を問わず参加できます。館内にはプロジェクトの活動拠点となる「プロジェクトルーム」があり、採択されたチ

ームだけが利用できます。

年2回、報告会が開催され、各プロジェクトは定められたルールでの報告が義務付けられています。

活発な活動を展開し、当初の目標を達成、優れた成果をあげたプロジェクトを顕彰する「同志社ローム記念館大賞」の制度もあり、副賞として賞金も授与されます。

Q：同志社ローム記念館プロジェクトの特徴は？

A：同志社ローム記念館プロジェクトでは、それぞれの目標を掲げたチームが同時期に同じフロアで活動しており、交流する機会も多いので、お互いに刺激し合える環境があります。

同志社の法人共通施設なので、同志社大学だけでなく、同志社女子大学の学生や法人内の高校生も参加でき、多様なメンバーでのチーム編成が可能です。

各プロジェクトの成功をサポートする目的で「スタジオ Zero」という学生チームがあります。

広報活動やプロジェクト運営のサポート、成果報告の場づくりなどを担っています。各プロジェクトの代表で構成される「SCoP(スコープ)」という組織もあり、他のチームと切磋琢磨して活動できる環境があります。

Q：「SCoP (スコープ)」ではどんな活動をするのでしょうか？

A：各プロジェクトの代表が集まり、活動における課題解決や、より活動しやすい環境づくりに向けた意見交換を行います。スタジオ Zero を中心に運営されており、月1、2回「SCoP 総会」を開催しています。各プロジェクトからの要望などをもとに、勉強会なども企画され、スキルアップのチャンスもあります。

◆実施体制について

Q：プロジェクトメンバーは自分たちで集めるのでしょうか？

A：エントリー時に、中心となって活動を進めることができる「3名」以上のメンバーが参加していることがエントリーの条件となります。また、エントリー時点でどのようなメンバーが何名程度必要か、についても計画し、示すことが求められます。

採択決定後、3月中に各プロジェクトでメンバー募集用のポスターを制作し、4月中をめどに各プロジェクトでメンバーを集めていただきます。

「スタジオ Zero」が、全プロジェクト合同の説明会を開催したり、広報誌「ippo (イッポ)」を制作・配布したり、スムーズなスタートをサポートします。チーム作りやプロジェクト運営の疑問点、不安を解消しながら活動を進める、ローム記念館ならではのサポートを活用してください。

Q：他大学の学生も参加できますか？

A：参加できます。ただし、メンバーの構成は、同志社の学生・生徒の割合が70%以上と定められています。

Q：ゼミ単位でのエントリーはできますか？

A：単一ゼミの学生しかいないチームは認められません。同志社大学・同志社女子大学の学生を中心に、多様な学部、学科、学年でチームが構成されることは、同志社ローム記念館プロジェクトの良さのひとつであると考えています。

エントリー時点ではゼミ生のみチームであっても、追加でメンバーを募集し、目標達成に向けて実効的なチームとなるようにしてください。

その他、任意団体など、ベースとなる組織がある場合は、エントリーシートに明記してください。

Q：プロジェクト責任者は必要ですか？

A：同志社の専任教職員がプロジェクト責任者として参加することが実施条件です。学生のリーダーでは進めることができない契約など、各種手続きでの代表者になってもらう、活動についてのアドバイスをもらうなどの形でプロジェクト活動をサポートしていただくことになります。活動の第一歩として、自分たちが提案するプロジェクトの目的や活動内容に賛同してもらえる教職員をみつけましょう。

※教職員が見つからない場合は、事務室にご相談ください。

Q：企業などとの連携は可能ですか？

A：可能です。学生提案のプロジェクトの場合でも、エントリーまでに企業・団体等の協力を得る内諾を得ている場合は、エントリーシートにその旨記載してください。
企業・団体からのテーマ提案も受け付けています。

◆活動費（予算）について

Q：プロジェクトの活動費は10万円ですか？

A：予算書に基づき、審査を経て、10万円を上限に活動費が付与されます。

活動費としては、プロジェクトに直接必要な経費のみ認められており、規程に則って執行手続きをします。

費目によっては活動費として取り扱えないものもありますので、不明な点はエントリーまでに事務局へおたずねください。

プロジェクトの予算規模が10万円を超える場合は、館からの活動費以外の資金調達も可能です。

他組織との関係性の中で、資金調達を積極的に模索し、調達ははかることも活動の一部ととらえています。企業・団体からの協賛やクラウドファンディング、助成金など、館からの活動費以外の資金調達も計画してください。ただし、プロジェクトの成果は同志社ローム記念館に帰属しますので、資金提供にあたっての条件は、双方が納得した上で手続きを進める必要があります。まずは、プロジェクトの目的や活動内容について誠意を持って伝えましょう。

Q：館から付与される活動費は、講習会や勉強会に個人で参加するときの参加費に充てることができるか？

A：プロジェクトに対して、より大きく貢献するためには、メンバー各自のスキルアップが欠かせませんが、その費用は個人で負担してください。目標達成に欠かせないプロジェクト活動の一環として行う勉強会の費用は活動費から支出できる場合があります。

Q：活動中のメンバーの交通費は支出可能ですか？

A：調査、フィールドワークなど、活動時の学生メンバーの交通費は、原則として活動費からは支出できません。成果発表の場など、プロジェクト推進に必須となるイベントに関しては一部付与する場合があります。

また、活動にレンタカーなどの利用は原則として認められませんが、自動車以外の運搬方法が難しい場合の運搬目的としてのみ、個別に具体的な使用状況を事前に確認したうえで認める場合があります。

Q：会議での飲食代は支出可能ですか？

A：メンバーの飲食費支出は認められません。

活動への協力者に対する飲料、食事代（講演会講師を、昼食時間帯をまたいで拘束するような場合の昼食など）は、企画書等をもとに、具体的な内容により支出の可否を判断します。

Q：活動で使用するPCの購入費用は付与されますか？

A：館内の施設（マルチメディアラウンジやオープンエリアPC）での対応が可能なもの、また、館からの貸出が可能であると判断したものは付与しません。

なお、活動費で購入したものはすべて学校法人同志社に帰属しています。プロジェクト終了後は、すみやかに返却していただきます。

Q：活動費は現金で支払われるのですか？

A：同志社の経理規程に基づき運用しており、現金で一括して支払うことはありません。

所定のルールに基づき執行手続きを行い、プロジェクト終了時には会計報告書の提出が求められます。

各プロジェクトで「会計責任者」を決め、活動費の執行管理をしていただきます。

◆提出書類について

Q：エントリーシートは手書きでもいいでしょうか？

A : Webサイトにアップしている office Excel 所定フォームにデータとして入力をお願いします。

Q : E-mail で送ってもよいでしょうか？

A : 印刷した書類を一部、ローム記念館事務室窓口へ提出していただく必要があります。あわせてファイルを下記アドレスに送付してください。

窓口取扱時間 月～金 10:00～11:30 12:30～17:00

エントリー受付 問合せ

同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会事務局

同志社ローム記念館事務室

電話 : 0774-65-7800 (ローム記念館事務室直通)

FAX : 0774-65-7008

E-mail : jt-rohm@mail.doshisha.ac.jp

同志社ローム記念館 Web サイト

<http://rohm.doshisha.ac.jp>

同志社ローム記念館プロジェクト Facebook ページ

<https://www.facebook.com/#!/pj.drm>

Web サイトから、所定の書式を
ダウンロードして作成してください。

